

子育て Q&A No.7 ～子どもへの接し方②～

思春期の子どもとのむきあい方は難しいです



思春期は自律の準備期間と心得る

思春期は自律の準備期間。不愉快な言動をするのは、健康に成長している証です。子どもの自律に耐えられる親か試されていると思ひましょう。子どもがイライラしていたら、「何にイライラしているの」「どうした？話してね」と気持ちを聞いてあげることもよいですが、基本的にこう考えます。

『子どもには一人で生きていく力があるはず。この苦しみに立ち向かう力があるはず』
子どもの力を値引きしないで見守りましょう。



飽きっぽくて集中しないのですが…



そこまで集中できたと捉えよう

飽きやすいのではなく、「そこまで集中した」のです。

スポーツの練習では、集中時間を保つために成長に応じた工夫をしています。例えば、並んで待つことを少なくする・1人に1つの道具を準備する・全員が常に動く・長々と説明しないなどです。そして、時間比較の中での成長や意欲をほめています。



子育てに行き詰った時に思ひだす 講師の光る一言

須坂市は子育ての支援が充実しています。
一人で悩まずに相談機関を利用して！

お母さんが元気じゃないと子は育ちません。
おかあさんは子どもの心の栄養です

言葉で指示するだけでなく、
共に動いて、コミュニケーション
しながら子育てをしよう

子育てに正解はない。
大切なのは日々の積み重ね！

オリジナルの子育てでOK。
基礎は大切だけど、環境は異なる。
相談しながら、自分なりの子育てを
楽しんで！

親は、子どもの好奇心を支えよう！

大きな扉ばかり開こうとせず、
とにかく小さな扉を開くこと

大人が考えを変えることで子育ても変わる

